

さらに「安心」「信頼」して いただくために

vol.6 保守作業における安全確保の 取り組み

当社では、列車を安全に運行するため、保線・電気工事といった線路上でのメンテナンスを日々、行っております。
こういったメンテナンス作業を行う作業員の安全確保も当社にとって重要な課題です。



保守作業のようす



保守作業のようす

安全確保上の主な対策

作業員の安全を確保するために、これまで

- ・ 作業時の見張員の配置
- ・ 線路閉鎖工事※の実施

※作業区間に列車を進入させない措置をとったうえで実施する工事

などの対策を行ってきました。

これらに加え、単線区間の作業時における安全性をさらに高めるために新たな対策を実施いたします。次に具体的な事例を紹介します。

単線区間における保守作業時の新たな安全確保策

単線区間で次の列車が来るまでの間を利用して作業を行う場合には、①持ち運べるタイプのATS地上子を活用する、②列車接近警報装置を活用する、のいずれかの措置を講じます。

①持ち運べるタイプのATS地上子の活用

列車見張員を両側に配置したうえで、持ち運び可能なATS地上子を設置し、万が一、列車が接近したとしても作業区間への列車の進入を防ぎます。



持ち運べるタイプのATS地上子

②列車接近警報装置の活用

列車見張員を両側に配置したうえで、GPS(全地球測位システム)機能を活用した列車接近警報装置により、列車の接近を列車見張員に確実に知らせます。



列車接近警報装置



警報端末画面



測位端末画面

そのほか、指令員と作業責任者の連絡方法の改善や、より実務に即した訓練の実施などにも取り組んでいます。